

◎ 山梨県スポーツ推進計画の進捗状況

山梨県スポーツ推進計画第5章2の計画の進行管理に基づき、令和3年度における計画の進捗状況（数値目標達成状況）について、次のとおり公表します。

基本方針Ⅰ（子供のスポーツ機会の充実）

政策項目	指 標	2018年度 (平成30) の値	2021年度 (令和3) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
1	①「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における授業以外でほとんど毎日（週420分以上）運動やスポーツを実施している児童の割合（小5）	男子 56.9%	男子 54.3%	男子 59%
		女子 34.0%	女子 33.8%	女子 37%
	②「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における児童の体力合計点の全国体力合計点との比較（県平均/全国平均）×100（小5）	男子 98.9%	男子 98.4%	男子 100%
		女子 99.1%	女子 99.2%	女子 100%
2	平日1日と土日どちらか1日を休養日としている部活動顧問の割合（中学校・高校）	中学校 平日 80.4% 土日 93.2%	中学校 平日 89.6% 土日 96.1%	中学校 平日 100% 土日 100%
		高校 平日 79.0% 土日 80.9%	高校 平日 85.0% 土日 87.9%	高校 平日 90%超 土日 90%超

○ 学校、地域、家庭において、子供が運動を楽しむ機会を充実させ、運動の日常化を図りながら体力の向上を目指している。

[1-①]

・ ほとんど毎日（週420分以上）運動やスポーツを実施している児童（小学5年生）の割合は令和元年度より低下したが、全国的に同様の傾向がみられ、背景としてテレビ、スマートフォンの視聴時間の増加などが考えられる。

[1-②]

・ 体力合計点の比較（小学5年生）は、男子は令和元年度より全国平均値との差がやや開いたが、女子は平均値に近づいた。全国的に体力合計点の低下傾向がみられ、背景として上記①の割合が低下したことが考えられる。

[2]

・ 県・市町村教育委員会及び各学校が策定したガイドラインに基づき、休養日の設定に取り組んだ結果、平日・土日とも割合が上昇し改善がみられた。

基本方針Ⅱ（健康教育の充実）

指 標	2018年度 (平成30) の値	2021年度 (令和3) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「朝食を食べない日が多い」「食べない」児童生徒の割合（小5、中2）	小5男子 2.2% 小5女子 1.4% 中2男子 4.8% 中2女子 3.9%	小5男子 2.5% 小5女子 1.9% 中2男子 4.4% 中2女子 4.2%	小5男子 2.0% 小5女子 1.3% 中2男子 4.6% 中2女子 3.5%

○ 子供たちの望ましい生活習慣の定着を図るため、学校関係者と連携・協働しながら、学校保健、学校給食、食育等の充実に取り組んでいる。

[1]

・ 「食育推進一校一実践」の取り組みなどにより、全国の数値（小5男子 3.5%・小5女子 3.0%、中2男子 5.5%・中2女子 5.0%）より上回ったが、令和元年度よりは低い結果となった。

基本方針Ⅲ（若年期から高齢期までライフステージに応じた生涯スポーツの推進）

政策項目	指 標	2018年度 (平成30) の値	2021年度 (令和3) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
1	過去1年間に一度も運動・スポーツを実施しなかった人の割合	20.3%	18.6%	10%
2	総合型地域スポーツクラブに関する実態調査におけるPDCAサイクル(※)により運営の改善等を図っている総合型地域スポーツクラブの割合	30.4%	22.2%	70%

※PDCAサイクルとは、法人などの組織の事業活動でPlan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)を繰り返しながら業務を継続的に改善していく手法。

- 誰もが生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現し、県民一人ひとりが年齢や興味、関心、適性などに応じた生涯スポーツに取り組めるよう支援している。

[1]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、スポーツへの参画機会の減少や自宅での自粛期間等が長引いたことにより、運動不足を感じる県民が増えた。そのため、運動に対する意識が高まり、未実施率が減少に転じた。

[2]

- ・ 事務局内や運営委員会においては、現状を把握し改善するための話し合いの機会を設けていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、スポーツクラブの活動が停滞したことにより、次年度の計画改善につなげることができなかったクラブの割合が増加した。

基本方針Ⅳ（競技力の向上）

政策項目	指 標	2018年度 (平成30) の値	2021年度 (令和3) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
1	①ターゲットエイジを対象とした発掘・育成事業を実施している競技団体の割合	36.6%	78.0%	100%
	②国民体育大会における天皇杯得点と順位	803点	—	900点
		36位	—	20位台
2	競技力向上に係る優秀な若手指導者を育成・強化している競技団体の割合	24.4%	56.1%	100%

- スポーツ関係団体と連携し、次世代アスリートの発掘・育成を進めるとともに、指導者の養成を進め、ジュニアからトップレベルに至る一貫指導体制の構築を図っている。

[1-①]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部の事業は中止となったが、各競技団体において、感染症対策を実施しながらスポーツ教室を実施するなど、次世代アスリートの発掘育成に取り組んだ。

[1-②]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度の国民体育大会本大会（三重）は中止となった。

[2]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部の公認指導者講習会は中止となったが、実施方法をオンラインに変更するなどにより、若手指導者を育成・強化している競技団体の割合は増加した。